

## こどもとしょかん 2月あかべえ展示コーナー 『節分・バレンタインデー』

### ◆節分

タイトル	著者名	出版社	出版年	
鬼といりまめ 2月 節分のはなし	谷 真介/文 赤坂 三好/絵	佼成出版社	1991	MU/E/才

「ふくはうち おにはそと」という掛け声でいり豆をまく、その由来となった民話の絵本。  
日照り続きで困っていた母親は「雨を降らせてくれば、一人娘を嫁にやつてもいい」とつぶやきました。すると鬼が  
やってきて雨を降らせてくれたのです。娘のふくは、鬼の嫁となりました。

おにはそと	せな けいこ/作 絵	金の星社	2010	E/セ
-------	------------	------	------	-----

子どもたちに豆をぶつけられ逃げ帰った鬼たち。ところが小さい鬼の「ちび」は残って、子どもたちと仲良く遊んでいました。「ちび」が捕まったと思い込んだ鬼たちは、武器とよろいを作り「ちび」を取り返しに行くのですが…。

せつぶんだん まめまさだ	桜井 信夫/作 赤坂 三好/絵	教育画劇	2000	E/セ
--------------	--------------------	------	------	-----

まめをまく、イワシの頭を飾るなど、節分に行うあれこれの理由が物語に組み込まれ、子ども向けにわかりやすく描かれています。「節分って何?」の疑問を解決する絵本です。

まめのかぞえうた	西内 ミナミ/作 和歌山 静子/絵	鈴木出版	2004	E/マ
----------	----------------------	------	------	-----

ひとつ、ふた一つ…と数えていくうちに豆が成長していくかぞえうた。節分の豆についても知ることができる、年の数だけお豆を食べたら読みたい絵本です。

### ◆バレンタインデー

ひみつのたからチョコラーーテ	平山 晖彦/作	福音館書店	2012	E/ヒ
----------------	---------	-------	------	-----

絵本の形ですが、中は漫画です。  
発明家のおじいさんと一緒にタイムスリップしたしようと400年前のメキシコへ。そのころのチョコレートは身分の高い人しか飲めない秘密の飲み物だったのです。チョコレートの歴史を探る、冒險物語。

くまふうふのバレンタイン	イヴ バンチング/文 ジャン ブレッド/絵	新世研	2000	E/ク
--------------	--------------------------	-----	------	-----

冬眠の最中だけど、バレンタインのお祝いをすることにした、くまの夫婦ベティーとボビー。大きな音を立てて目覚ましが鳴り、バレンタインデー当日です。ベティーはボビーに内緒でお祝いの計画をたくさん立てていました。

かいけつゾロリ なぞのスパイとチョコレート	原 ゆたか/さく え	ポプラ社	2012	F/ハ
--------------------------	------------	------	------	-----

女人の人をたすけたゾロリ。その女人人はローズという名のスパイ。悪の組織からマイクロフィルムを盗み追われていたのです。そうは知らないゾロリは、ローズからバレンタインのチョコレートをもらって喜んでいたのですが…。

とておきの日のスイーツ バレンタインデー＆バースデー	大森 いく子/著	金の星社	2011	596/オ
-------------------------------	----------	------	------	-------

フルーツチョコ、生チョコ、ハート形のチョコクッキーなどのスイーツの作り方や、おしゃれなラッピングのやり方など。手作りのプレゼントしてみませんか。  
「おしゃれでおいしい!季節の手作りスイーツ」の一冊。